



「月に吠える、それは正しく君の悲しい心である。」萩原朔太郎の『月に吠える』に寄せた北原白秋の序文中の一句です。このフレーズは「天を仰ぎ、真実に地面（じべた）に生きているものは悲しい。」と、締めくくられます。仲秋の名月を迎えるこの時期にあらためて、このパラグラフを読んでみると、自然と人との絶対的な差異に驚かされると同時に、それ故に、天を仰がずにはいられない人の心性も、強烈に伝わってきます。農業とは正に、その「真実に地面と共に生きていく」営みではないでしょうか。

## ★9月の行事予定★



- 3日（月） AO入試第2期エントリー受付開始  
オイスカ中部日本研修センターインターンシップ
- 5日（水） 後期校納金納入期限
- 15日（土） 第5回オープンキャンパス
- 19日（水） 和地地区環境保全活動（13：15～）
- 28日（金） 職業適性検査（1年生、ハローワーク14：00）

## ★諸行事報告★

前後二期制の本学では7月20日（金）より、夏季農業実習・インターンシップ期間に入っています。学生が交代で農場の管理に携わったり、自分たちの作った野菜の販売実習に出かけたり、自らの進路に関係のある企業や組織にインターンシップに出かけたりしています。

異常気象とも言われる今夏、真っ黒に日焼けして、学生たちは活動しています。7月末の台風12号上陸時には、農場にも少なからぬ被害がありましたが、その後片付けにもみんなで取り組みました。



また、この期間には台湾、香港から3週間の日程で短期留学生たちもやってきました。日本語の授業のみならず、日本の文化体験もします。写真は浴衣の着付けや礼儀作法の体験の様子です。

